

消耗戦① (受験勉強)

本来、消耗戦は誰にとっても馴染みのあるものです。
ですが、いきなり馴染みのない軍事的な話から始めてしまうと解り難くなるため、まず例え話を通して消耗戦のイメージを掴んでももらいたいと思います。

1 将来、宇宙開発関連の仕事をしたい高校生のたかし君

『たかし君は高校2年生です。そろそろ進路について考えなければならない時期になり、改めて将来何をしたいかについて考えたところ、宇宙開発関連の仕事をしたいと思いました。そこで宇宙開発関連の仕事に就くための進路を調べたところ、宇宙工学という分野があり専門的なことが学べるとのことで、それならと宇宙工学を学ぶためA大学工学部の受験を決めました。

行きたい大学も決まったので次は受験勉強です。今のたかし君の成績から考えるとA大学工学部に合格するためには、計画を立ててしっかり勉強していかなければなりません。』

実は、このたかし君の進路選択や受験の特徴は消耗戦的なものです。ただ、この例え話を機動戦に置き換えると話が発散しそうになるので、この例え話はあくまで消耗戦のイメージを掴むために使いたいと思います。

レポートを読むと、最初は理屈っぽいだけで何を言っているんだと感じると思いますが、今後のレポートとあわせて何度か読み返してもらえると徐々に分かるようになっていきます。消耗戦を理解することで機動戦を理解しやすくなり、機動戦を理解することでVUCAの時代にも対応できるようになりますので頑張ってみてください。

2 たかし君の進学を消耗戦的な観点で考える

(1) 目標について

まず、目標について考えます。

たかし君の夢(目的)は将来、宇宙開発関連の仕事に就くことで、そのために最もオーソドックスな進路を選びました。それがA大学工学部(目標)です。

ここを優秀な成績で卒業することができれば、たかし君の夢は叶ったも同然です。つまり目的を達成ための最短コースであり、最も信頼度の高い方法です。

一方でリスクもあります。それは夢を叶えるための最短コースであり、最も信頼度の高い方法であるがゆえに、たかし君と同じ夢を持つライバルが最も集中する場所でもあるとい

うことです。

つまり、たかし君の目標は「最も価値があり、かつライバルが最も集中するところ。そこで勝利することは多くのライバルとの直接対決を制することになり、夢の実現と同じ意味を持つ」という特徴があります。

特徴1：最も価値がある目標と、最もライバルが集中する場所が一致している

(2) 受験について

次に、受験について考えてみたいと思います。

以前のレポートで、戦い=conflict であり「障害を克服して目的を果たすこと」であると説明しました。

ここでは、その戦いの前提となる原理原則を一つ紹介します。それが「優勝劣敗の戦理」です。その意味は、優れている方が勝ち、劣っている方が負けるということです。

今回の受験の場合、

たかし君の学力 vs A大学工学部の難易度

の戦いであり、たかし君の学力がA大学工学部の難易度を上回っていれば受験に合格することができます。つまり受験という戦いの特徴は、学力と難易度のガチンコ勝負。力と力のぶつかり合い、実力勝負です。

特徴2：実力勝負

そして受験勉強では理屈上、全ての科目で 100 点満点を目指しています。ただ、実際は 100 点満点を目指して勉強し、その結果合格ラインを越えることを期待しています。

特徴3：理論上のゴールは完全制覇だが、実際はその過程で目標達成することに期待

試験で何点取ることができるかは、たかし君の勉強の質と量にかかっています。たかし君がより質高く、より長い時間勉強できれば得点もあがります。勉強するほど得点も上がる、つまり努力と成果が比例しています。

特徴4：努力と成果が比例している

(3) 受験勉強

受験勉強についてはどうでしょうか。

まず、受験勉強をするにあたってA大学の試験について調べる必要があります。調べる内容は科目、偏差値、倍率、過去問、試験問題の傾向などですが、ほとんどの項目は具体的に分析もしやすく、かなり正確に予測することができます。つまり、良い計画を立てやすく、その計画通りに勉強を進めていくことで合格に近づいていきます。

特徴5：良い計画を立て、その計画を実行する

計画の進捗状況は勉強時間、勉強した科目、模試の点数、偏差値、判定といった定量的な項目で測ることができます。そして計画と進捗状況を照らし合わせることで、進捗状況にズレがあれば勉強時間を調節する、計画を修正するなどで対応します。

特徴6：定量的な項目で進捗状況を測る

(4) 努力の方向性

最後は努力の方向性についてです。

受験の合否はたかし君の実力が試験の難易度を上回るかどうかで決まります。

そのため、たかし君がやることは試験の傾向を分析し、対策を練り、勉強の計画を立てたら、あとはひたすら勉強することです。

試験官の目を盗んで、親の人脈を使ってなど、利用できる試験制度の欠陥を探すといった努力はしません。

自分の実力を高める。つまり努力の方向は自分を向いています。

主な努力の方向性は自分の実力を高めること（内向的）であり、試験の特徴や仕組みを理解すること（外向的）ではありません。

特徴7：努力の方向性は内向的

特徴については以上です。

これを踏まえて、次のレポートでは消耗戦について軍事的に説明していきます。